

令和 7 年度 学校評価

学校法人山田学園 認定こども園金田幼稚園

1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切にしたい教育を行う。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を行う。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標・計画	具体的な取り組み方法
① 特別支援教育の理解と充実	年々増える配慮の必要な子どもへの対応として、加配教員を年長 3 名、年中 3 名、年少 5 名とし、全クラス 2 名ないし 3 名体制で保育を進めていく。絵カードやタイムタイマーなど視覚支援用品を使ってより伝えやすい方法を探りながら、個と集団のバランスを考えていく。
② 災害・不審者対策および安全管理	地震・火事・津波の訓練は成熟してきているため、引き続き不審者対応に力を入れ、複数パターン行う。 また、津波の際はハザードマップを参考に、人数の多い幼児は小学校への避難を考え、小学校と連携して訓練を実施する。
③ 職員の研修体制	主任の参加する 3 1 次プロジェクト（名古屋市立大学・上田敏丈教授）が昨年度終了したが、書籍化が決定し、各園の取り組みが全国に発信されることとなり、これを契機に他の職員も積極的に学びの機会に触れ、自己研鑽できるように働きかける。
④ 園内研修の充実	園内研修では学年ごとの担当制も取り入れ、学びたいことを自ら考え外部講師に依頼したりしながら進めていくとともに、昨年度から始めた園内 ECEQ（保育者全員が互いの保育を見学し合い、良い部分も改善点も含め、意見を出し合うことで保育の質向上を図る）を実施する。
⑤ 新人育成	今年度は新卒者が 3 名と経験者 1 名が新たに入り、再度人材育成に力を入れていく。子ども理解・指導案やドキュメンテーションの作成・支援児の対応など具体的に携わり、園として新人対象の研修を実施し、次年度に向けた準備を丁寧にしていく。預かり保育を担当するうえで支援児の対応で悩む若手職員への指導も必要になると考える。

⑥労働環境の改善	新人採用・人材育成・早期離職を防ぐことが業界全体の課題となっているが、当園としても人材育成のみならず、働きやすい職場環境の整備やチームワークの向上にも注力し、保育の質向上のためには労働環境の改善が必要であることを意識し、働きたい園・長く続けられる園を目指した環境を整える。具体的には残業のないようパート職員・フリー教員みんなが保育をサポートし、バス・掃除・預かり保育を専任化し、担任がクラスの子どもに注力できるようにすることで、生き生きとした保育が展開できるようにしていく。
----------	--

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

目標・計画	具体的な取り組み
① 特別支援教育の理解と充実	支援児が増えたことに伴い、年長2クラスに3名、年中2クラスに3名、年少3クラスに5名の加配教員を配置でき、保育室から飛び出す子や活動に参加しない子にも寄り添いながら最終的には集団生活に参加できる姿が増え、個々にあったかわりの中でその子なりの成長が見られた。
② 災害・不審者対策および安全管理	毎月行うことで子どもたちにも浸透しており、また、金田小学校への避難も昨年に続き12月に実施でき、有事の際の避難経路を確認できた。不審者対応も実施でき、最も対応が難しい課題を共有できた。
③ 職員の研修体制	3月の大規模な対面研修には幼児職員が全員参加することができ、様々なテーマに触れ学ぶことができた。全体的な研修の参加率は低下しているため、次年度さらに参加するよう促していく。
④ 園内研修の充実	今年度も学年ごとの担当制も取り入れ、学びたいことを自ら考え進めていった。また、ピカソプロジェクトの講師により子どもの絵画活動の新しい見方、取り組み方を実際の保育の中で子どもに実際に実施してもらえたことで、新たな発見があった。他に、兵庫教育大学鈴木正敏先生に来園いただき、保育見学のあと、講義を受けた。また、園内公開保育を実施し、互いの保育を見合い、自己の課題に向き合うことができた。
⑤ 新人育成	担任を持たないベテラン教員によるフォロー体制の構築により、常に質問やアド

	バイスのできる環境を整えた。毎月の新人会議、新人指導の指導案を作成し、あらたな人材育成の手法が確立してきた。
⑥ 労働環境の改善	残業のないようパート職員・フリー教員みんなで保育をサポートし、昨年同様掃除専門の職員の助けもあり、持ち帰り業務の減少および定時退勤が慣例化してきた。

4、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。

5、学校関係者評価

① 特別支援教育の理解と充実

【回答者 A】

募集定員以下での保育や加配の教員数を増やすことで、配慮の不要な子ども達への対応、見落としなどが減り、園全体の生活環境が良くなったように感じます。

【回答者 B】

配慮の必要な子供が年々増えていると、こちらも実感しています。

1人1人に合わせた丁寧な対応をしていただいていると感じます。

【回答者 C】

少し支援が必要と感じる子が、久しぶりに会うと、とても成長している姿を見ます。それも担任以外の先生を配置して頂いているからであり、子どもからもその先生と話した事を聞くので、担任以外の先生の存在もありがたいです。

【回答者 D】

支援が必要な子どもたちだけでなく、クラス全体の落ち着いた保育環境にもつながっていると感じました。子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを今後も継続していただけたらありがたいです。

② 災害・不審者対策および安全管理

【回答者 A】

年々増える災害や子ども達が巻きこまれる事件が多発している中で、月に1回の全体訓練はすごく大切だと思う。

回数を重ねることにより子ども達も身につけることができたのだと思う。

【回答者 B】

定期的に訓練を実施して頂き、安心しています。

【回答者 C】

今日は地震の訓練だった。洪水の訓練だったと聞きます。

そして、こうするねんど教えてくれるので、毎月行う事により忘れず覚えているのだと思います。

【回答者 D】

毎月の訓練を継続して実施していただいているで、子どもたちにも防災意識が身についていると思います。娘も災害は怖いものと理解しており、避難する際の行動

についても家で話してくれるため、保護者としても安心につながります。

③ 職員の研修体制

【回答者A】

休日を使つての研修は自由参加でも良いと思うが、新任教員はできるだけ研修参加していただいた方が良いのではないかと思います。

【回答者B】

成長に合わせて丁寧に対応して頂いており、先生達の努力が伝わります。

【回答者C】

内々で終わらず、外部の先生を招いて、より良い保育をと考えて頂いている事に感謝します。

【回答者D】

1人1人のことをしっかり見て頂いていると感じており、安心しています。
今後も研修での学びを保育に活かしていただければと思います。

④ 園内研修の充実

【回答者A】

(無回答)

【回答者B】

子供の様子を丁寧に見て頂いて、先生達の研修が活かされていると感じています。

【回答者C】

外で体を動かす事、お部屋で座ってする学び、色々な事において年々パワーアップしていて新しい！すごい！と思う事が多々あります。

先生方の研修が生きていると思います。

【回答者D】

先生方が学びを深め、その内容を保育に活かして下さっていることを嬉しく思います。

⑤ 新人育成

【回答者A】

支援を要する子どもが増えて色々なパターンの対応をしなければならない中で、ベテラン教員からの指導が新人の方への大切な教えだと思う。

常に質疑応答ができる環境は、すごくいいと思う。

【回答者B】

おかげ様で、若い先生にも温かく接して頂き、安心して子供を預けられています。

【回答者C】

ベテランの先生が担任からはずれ自由にうごけるようにして、新しい先生方のサポートをしているのかなと見ていてよく分かります。とても大事な事だと思います。

【回答者D】

新人の先生方を支える体制が整えられていることを心強く感じます！

⑥ 労働環境の改善

【回答者 A】

(無回答)

【回答者 B】

先生たちが働きやすい環境づくりを、これからも進めていただければと思います。

【回答者 C】

休息・睡眠、とても大事です。健康第一。

大変なお仕事だとは思いますが、しっかり休みも取って下さい。

【回答者 D】

先生方が安心して働ける環境づくりが進んでいること嬉しく思います。

これからも無理なく子どもたちと関わって頂けたら良いなと感じました。